



三浦 一之

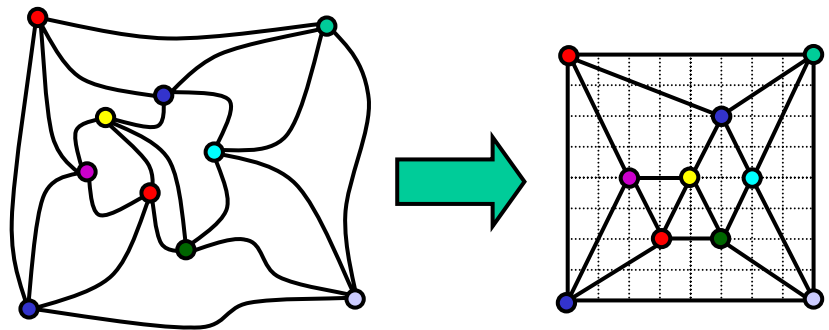
Miura Kazuyuki
博士 (情報科学) (東北大学)

略職歴

- 2001年 東北大学助手
- 2005年 福島大学助教授
- 2007年 同准教授

グラフの“きれいな”描画に関する研究

ビジュアライゼーション・VLSI レイアウト, ソフトウェア, インターネット(ウェブ文書のハイパーリンク構造)等様々な分野において, 点とそれらを結ぶ辺からなるグラフを“きれいに”描画することが求められている. 特に平面グラフの描画は計算幾何学の分野で活発に研究されており, 求められる応用に応じて直線描画, 凸描画, 矩形描画等様々な描画法が研究されている. これらの各々の描画をより高速に描画する手法を確立することが重要な課題である.



(a)平面グラフ G

(b)G の描画の例

学会活動

- 電子情報通信学会
- 情報処理学会
- LA シンポジウム

主な研究分野

- テーマ①平面グラフの格子直線描画に関する研究
- テーマ②平面グラフの格子凸描画に関する研究
- テーマ③平面グラフの矩形勢力描画に関する研究
- テーマ④グラフ描画ツールの開発に関する研究

相談に応じられる分野,テーマ

- ①計算幾何学
- ②アルゴリズム論
- ③グラフ理論

社会活動

キーワード: 計算幾何学, アルゴリズム, グラフ, 描画,

主な担当科目

- プログラミング I,II
- 離散数学
- アルゴリズムとデータ構造

代表的な業績

- ・ Grid Drawings of Four-Connected Plane Graphs, Discrete & Computational Geometry, Vol. 26, No. 1, pp. 73-87, 2001.
- ・ Convex grid drawings of four-connected plane graphs, International Journal of Foundations of Computer Science, Vol. 17, No. 5, pp. 1031-1060, 2006.